

NFAアクションプラン2022→2026	全体 頁中の 頁
1. 現状の概要と今後の方向性	地区協会 資格・規律・F委員会 連盟
<p>資格・規律・フェアプレー委員会は、各地区協会及び各種別/連盟の選出委員にて構成され、定期的(年3回)に委員会を開催して情報共有を図っている。当委員会は県協会/地区協会機構図のとおり専門委員会の位置付けであり、司法機関としての独立組織にはなっていない。</p> <p>資格 : 国際ユースサッカーin新潟での選手資格確認等を実施  規律 : 各種競技会(大会)規律委員会と連携して定常的な懲罰対応/管理と規律委員派遣を適宜実施  裁定 : 暴力等根絶相談窓口対応を中心にウェルフェアオフィサーと協調したスキームの実践  フェアプレー : 育成年代でのリーグ戦文化浸透に伴いフェアプレーポイントやフェアプレー賞創設を提唱</p> <p>地区協会の具体的な委員会組織化までには至っていないが、HSFA司法機関組織運営規則に準拠して、引き続き基盤整備を図るとともに、各種競技会(大会)の懲罰報告手続の統一化を図っていく。  また、リスペクト・フェアプレーに関して、県協会主催/共催大会の実態を把握するとともに、ウェルフェアオフィサー制度やマッチコミッショナー委員会等と連携した啓蒙活動に注力していく。</p>	

NFAアクションプラン2022→2026	全体 頁中の 頁
2. 中期目標(2030年)	地区協会 資格・規律・F委員会 連盟
<p>活動の現状は、現場において発生した事象に対し懲罰処分を下すという受動的なものとなっている。今後は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○資格の適切な管理</li> <li>○サッカーファミリーの拡大</li> <li>○フェアプレーおよびグッドマナーの推進</li> </ul> <p>を基に上部組織(JFA/HSFA)に対応できる組織への改編と、その考え方の浸透に重点を置き、規律/裁定に関わる案件を生じさせない指導を適宜行っていく。  また、「フェアプレーおよびグッドマナーの推進」として規律裁定委員会を各地区協会、種別/連盟毎に組織化する事で、指導現場でのリスペクトの重要性や考え方の浸透を図るべく推進する。</p>	

NFAアクションプラン2022→2026	全体 頁中の 頁
3. 長期目標(2050年)	地区協会 資格・規律・F委員会 連盟
<p>活動の主体は、各地区協会、種別/連盟の規律裁定委員会を中心に規律・フェアプレー・グッドマナーの推進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○資格の適切な管理</li> <li>○サッカーファミリーの拡大</li> <li>○フェアプレーおよびグッドマナーの推進</li> </ul> <p>サッカーが、人の成長に役に立つ事を知らしめ、ファミリーの拡大を図る。  特に次世代を担う若者が成長できる土台を盤石なものにする。</p>	

NIFAアクションプラン2022→2026					全体 頁中の 頁
4. 現状分析					地区協会 資格・規律・F委員会 連盟
No. と 事項	2026年具体的目標	2022年における現状	達成度	目標達成へ向けての課題	改善の方策
1	各地区協会に規律裁定委員会の組織化	地区協会理事会等で代用可能と判断	90%	組織化及び改編に向けた課題抽出	課題共有と意見交換 HSFA司法機関組織運営規則の準拠
2	通告文等の情報ルート 確立と一元管理	《 規律案件》 実務ベースで各競技会(大会)規律委員会と連携して業務遂行 《 裁定案件》 WOGと 協調したスキーム確立と実践(2021年～)	70%	公平公正な判断及び円滑かつ迅速な実務遂行  NIFA暴力等根絶相談窓口対応協調	主催/共催大会の実態把握 競技会(大会)毎の規律委員会設置 懲罰規程・指導者に関する規則の熟知と事例共有 JFA懲罰制度運用マニュアル(Ver. 2)活用
3	リスペクト・フェアプレー啓蒙活動	現場での事業聴取不徹底 フェアプレー賞創設提唱段階	50%	事実認定の困難さ 暴力等根絶に向けた取り組み	ウェルフェアオフィサー(WO)制度と マッチコミッショナー(MC)委員会との連携
事項番号と見出し	事項の中での具体的な目標 明確に、可能であれば数値で	2026年目標に向けての2022年での現状 達成度の%表記を右欄へ記入→	%表記	目標達成のために解決すべき課題	課題を解決、改善のための方策の概要

NFAアクションプラン2022→2026					全体	頁中の	頁
5. 具体的アクション							地区協会 資格・規律・F委員会 連盟
No.	誰が	いつ・いつまでに	どこで	何を	どのように		
1	各地区協会 規律委員	2023年まで	各地区協会及び委員会	規律裁定委員会を組織化 運営細則の明文化	課題共有と意見交換		
2	各種別 規律委員	2024年まで	机上及びヒアリング	主催/共催大会の実態把握 競技会(大会)毎の規律委員会設置	主催/共催競技会(大会)要項確認		
	規律委員長	2023年まで	HSFA規律裁定委員会	通告文等の情報ルート 確立と一元管理	HSFA規律裁定委員会と協議		
	規律委員	2024年まで (以降定常業務化)	委員会	裁定案件の業務遂行	JFA懲罰制度運用マニュアル(Ver. 2)活用		
3	規律委員長 規律委員	2023年から2026年まで (継続)	MC/指導者研修会等で 机上及びヒアリング	暴力等根絶相談窓口案件対応 競技会の実態把握	事例紹介等の情報発信と啓蒙 フェアプレーポイント採用とフェアプレー賞創設		
↑現状分析での事項No. に対応。複数の事項にまたがって、一つの事業で対応することも可能です。							